

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 心臓血管手術中の局所脳酸素飽和度の変化と術後脳梗塞の関係</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 麻酔科 (研究責任者)近藤 裕子</p>
<p><研究期間> 承認日 ～ 西暦 2021年 3月 31日</p>
<p><研究の目的と意義> 心臓血管手術後の脳梗塞発生率は一般的に 3 パーセントと報告されています。心臓血管手術にて通常行われる局所脳酸素飽和度 (rSO₂) の測定は、人工心肺の送血管位置異常や人工心肺による脳循環異常の検出に有用であり、日本心臓血管麻酔学会発行の心臓血管麻酔における近赤外線脳酸素モニターの使用指針にて実施が推奨されています。一方、この rSO₂ の測定が術後の脳梗塞発症の検出と予防にどの程度有用であるのかははっきりしません。そこで今回、当院で 2018 年 1 月から 2019 年 11 月までの間に施行された予定または緊急の心臓血管手術症例を対象に、診療録と麻酔記録を参照し術後脳梗塞発生の有無および発生部位、術中の局所脳酸素飽和度の変動について調べます。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 2018 年 1 月 1 日から 2019 年 11 月 30 日までの診療記録および麻酔記録 ①研究対象者基本情報:年齢、性別、既往歴、診断名、 ②研究対象者の心臓手術情報:術式、rSO₂ 値、手術時間、人工心肺時間、還流圧 ③心臓手術後の脳梗塞の有無、梗塞部位</p>
<p><対象となる患者さん> 2018 年 1 月 1 日～2019 年 11 月 30 日の期間に当院心臓血管手術を受けた方</p>
<p><研究の方法> 当院入院中データにおいて心臓血管手術を受けた患者さんに関する手術中の脳血流酸素飽和度の値や術後脳梗塞の発症の有無および梗塞部位などについての情報を得ます。それらの情報において今後最適な手術中のモニタリング方法を検討していきます。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 麻酔科 氏名:近藤 裕子 電話:03-3972-8111 内線:(医局)3284</p>